

第 118 回 番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 31 年 3 月 26 日 (火) 18 時 30 分
- 2 開催場所 久留米市中央町 35-20
ドリームスエフエム放送(株) 本社
- 3 委員出席 委員総数 6 名
出席委員数 4 名
出席委員氏名 田中 優子・中西 昌人・上野 直幸
(レポート) 白谷 由紀子
放送事業者側出席者 秋穂 真由美 内藤 圭祐
- 4 議題 「BREAK SWITCH」小郡高校放送部コラボ企画
- 5 議事の概要 放送事業者が資料とともに 事前に CD に収録した番組を各委員へ届け、感想、意見を述べて頂いた。
- 6 審議内容 ① 番組名：BREAK SWITCH
② 放送時間：毎週月曜日～金曜日 17 時 00 分～19 時 00 分
③ 放送形式：生放送
④ 審議の対象：平成 31 年 3 月 11 日 放送分
⑤ パーソナリティ：エッグボール (田口・窪田)
⑥ ディレクター：エッグボール (田口・窪田)

【番組コンセプト】

ドリームス FM と地元高校との連携を深めると共に、もっと学生にラジオに親んでもらえるよう地元高校の放送部とコラボレーションした番組を夕方のワイド番組にて放送。

大会を除いては地域での発表の場が少ない放送部の活動を紹介する場にもなり、ラジオ番組制作や放送に興味や夢を持ってもらいたいと企画した。今回は小郡高校の放送部が、同校の卒業生で小郡市出身でもあるお笑いコンビ・エッグボールと一緒に、学生が独自で取材・調査した学校内の取り組み、図書館で人気の本のランキング、本の朗読などに挑戦しました。また、学校紹介では生徒会長と生徒会メンバーが代表して出演。

委員のご意見

「BREAK SWITCH」小郡高校放送部コラボ企画

- ① 地域に密着した FM 局ならではの身近な企画で、高校生らしいフレッシュさや明るさが伝わる楽しい番組だった。ともすれば建前やお堅い意義優先、時に演出過多に陥りかねないテレビや新聞では、なかなかマネのできない「ストレート感」で、生徒たちの学校・行事の紹介、箏部の演奏録音、小説の朗読など、最後まで内容多彩で飽きずに聴くことが出来た。
- ② 元気さにあふれ「小郡高校、和気あいあいとしているな」「えっ、駅チカで通学も便利なんだ」「生徒会長の自由な雰囲気は、きっと先生たちもおおらかなんだろうな」などと勝手に想像。うらやましく、気になる一校になった。
- ③ きっと生徒たちにも良い体験、思い出になったことだろう。地域 FM の貴重なコンテンツとして、これからもたくさんの地元の高校生、中学生たちが「わが校自慢」をしてほしいと思った。二巡、三巡もありでは。
- ④ こういう地元高校とのコラボ企画は学校紹介にもなるし、若い世代にもラジオに興味を持ってもらえる良い機会がいいと思う。どうせなら放送日を六角堂でイベントのある土日などにしたら友人たちが観覧できたり、イベントの集客にも繋がるのではないか。
- ⑤ まずは、お笑いコンビと高校生というあまりない組み合わせが興味をひいた。高校生の初々しさとエッグボールの軽妙さがよいコンビネーションだと思った。出演する高校生は放送部だけあって、聞き取りやすい声をしていてよかった。人気の本ランキングは、本の内容にふみこんだり、出演者がそれについてあまり話を深めたりすることがなく、さらっと紹介しただけ、という印象だったので残念だった。あらすじの内容も借りてきた言葉を読んでいるだけのような聞こえ方だったので、もっと高校生の感想等が入るとよかったと思う。朝読書の取り込みについて、もう少し詳しく説明してもよかったのではと思った。朗読は本格的でとても良かった。
- ⑥ 地元の高校とお笑い芸人とのコラボは、これから高校を選ぼうとしている中学生のためにも聞きやすくよい企画だと思う。

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

8 次回の審議委員会は、平成 31 年 7 月下旬に行う予定